



小笠原 良 子
(日本共産党)

元町東バス停の安全対策は

注意喚起を掲示

問 元町東バス停が国土交通省より交通安全上問題と思われる停留所に判定された理由と、その対策は。

答 バス停車時、横断歩道の前後5メートルの範囲に車体がかかる停留所として判定されました。対策として、運行事業者が飛び出し注意等の注意喚起を掲示しており、根本的な解決は、今後運行事業者と検討したいと考えています。

問 バス停の近くに駐輪場を整備する考えは。

答 路線バス利用に係る駐輪場整備は、利便性の観点から運行事業者が設置するものと考えており、今後、駐輪場の確保を働きかけるとともに、相談等があれば支援を検討します。

問 訪問介護事業所の人手不足等が全国的に問題となっているが、当市の現状は。

答 市内全17か所の事業所において、必要な介護サービスの量が確保されており、サービスの利用を制限される状況ではありません。

問 ^{ピーファス} P F A S (有機フッ素化合物) の水質検査を行う考えは。

答 令和5年10月に国からのP F A S濃度把握のための検査実施を求める通知を受け、市では、同年11月、検出のおそれのある全ての水道水源8か所の水質検査を行いました。いずれも定量下限値未満であり、安全性が確認できました。

問 (仮称) 惣辺奥瀬風力発電事業におけるゾーニングについて、市の考えは。

答 現在県では、新たな条例制定や自然保護などの考え方を見える化するためのゾーニングについて検討中であり、県の検討状況を注視し、進捗を見守っていききたいと考えています。



江 渡 信 貴
(自民公明クラブ)

旅先納税の導入を

今年秋に開始予定

問 ふるさと納税寄附を旅行先で行える旅先納税は、現地で決済ができ、その場ですぐに宿泊施設や飲食店等で使える電子ギフト等が返礼品として受け取れるため、観光客や出張に来た方々に有効な手段と思うが、導入の考えは。

答 寄附者の利便性が高く寄附につながりやすい有効な手段であることから、今年秋の開始に向けて準備を進めています。市では、こうした納税寄附ができる手段を増やすことで、寄附額の増加と観光消費への波及効果を高めていきたいと考えています。

問 親へのプレゼントなどのために住宅リフォームを返礼品に加えては。

答 住宅リフォームを返礼品として登録することは、総務省で示す一定の要件の下、可能であると認識しています。今後、返礼品募集の説明会などを通じて、住宅リフォームを行う事業者へ返礼品登録に向け働きかけをしていきたいと考えています。

問 寄附金の使い道を市民から公募する考えは。

答 市では、地域資源のブランド力向上や子育て環境の充実など10項目の用途を明示し、寄附者が用途項目を選択することにより事業への活用を図っています。現在のところ、用途を市民から公募する考えはありませんが、福井県坂井市で実施している寄附市民参画制度は、市民から寄附金の使い道を公募する全国で唯一の取組であり、今後の展開や動向を注視していきたいと考えています。

問 返礼品のアイデアを市民から公募する考えは。

答 返礼品の掘り起こしを行う際の手段の一つになるため、今後、広報などで募集したいと考えています。